

岐聖大野球部を応援

志門塾がボール300個寄贈

学習塾「志門塾」(大垣市林町)は7日、岐阜聖徳学園大の硬式野球部にボール300個を寄贈した。

塾の講師に同大教育学部の卒業生や学生アルバイトが多く、これまでも交流があり、昨年からの野球部の活動を支援しようとボールを

寄贈している。

岐阜市鶉の練習場を訪れた川瀬憲司社長が「学生も社会人も一生懸命に取り組む人は多くの人に応援



近藤真市監督にボールを寄贈する川瀬憲司社長(右) 岐阜市鶉

される。ぜひ応援される人になってほしい」と選手を激励。ボールを受け取った近藤真市監督は「元気よく楽しく試合に臨みたい」と意気込みを語った。

(土屋健一)